

夢の実現に向けて、 自分の人生を選ぶ! 主役は君だ!



なぜ、 ヤクゴに決めたのか? 人生、大切なものは何?

●松原 皆さんは就職先を選ぶとき何を一番重視しました? 給与? 福利厚生? 私は「会社の雰囲気」でした。なぜなら、1日の大半の時間を過ごすのは職場だからで、ここの雰囲気が悪いと人生の大半が嫌な時間になってしまいます。それに薬剤師としては患者さんに笑顔を見せたいですよね。職場

の雰囲気が悪いと笑顔になれませんから。ヤクゴ薬局の説明会には現役の薬剤師の方が2名来ていたので徹底して聞きました。人事の人の話ではなく実際に働いている人に会って、離職率の低さや雰囲気の良さを確認しました。

●平野 私も同じですね。実習先がヤクゴ薬局だったので雰囲気の良さを実感、「ここに勤めたい!」と思いました。会社説明会で副社長の「調剤薬局の薬剤師はスペシャリストよりもゼネラリストであるべき」との言葉にも感銘を受けました。薬だけでなく栄養指導など幅広く患者さんのお役に立てる…スペシャリストである病院薬剤師の業務にはない手応えがそこにあると思いました。

●櫻井 僕は最初は病院薬剤師志望だったのですが、彦根の実家に戻る途中、たまたまヤクゴ薬局彦根店を見かけ、Webで調べて「ここだ」と決めました。近江八幡から彦根を中心に大規模店から小規模店までさまざまな店舗を展開しており、自宅から通えるうえ、病院薬剤師よりも幅広い処方に関わって勉強になると思ったからです。



スキルアップの カギは環境! 日々の業務こそ学びの場

●櫻井 実際に入社してみて、期待以上でした。薬剤師は一生勉強だと言われていますので、入社後の勉強やスキルアップは大きな要素。日々、さまざまな処方に接することこそが最高の学びの場であることが分かりました。他店に応援に行ってみると、知らない薬や機械があったりするとわくわくしますね。

●平野 大病院の門前店舗では多様な処方を扱えるので本当に勉強になります。会社が月1回開く勉強会もありたいですし、先輩薬剤師が優しく教えてくださいたいのも「ヤクゴでよかった」と思える点です。また、薬学の日刊専門紙や主要雑誌が店舗にそろっていますので、空き時間を見つけては読んでいます。次々と新薬が出てきますので、常に最新情報に接しておく必要がありますから。

●松原 県や市の薬剤師会主催や勉強会や店舗単位の勉強会もあり、その気さえなれば勉強の機会は多いですね。テーマも幅広く、会社経営のスキルを学ぶ勉強会もありますよ。

学生時代よりも楽しい! 自分の時間もしっかり確保

●松原 学生時代は「就職すると好きなことをやり時間がなくなる」と思っていたのですが、就職してみてもびっくり。今の方が自分の時間が多いんです。学生時代は滋賀から大阪まで通学していたのですが、今は地元で働いていますから。それに「就職すると人間関係が大変」と聞いていたのですが、これも全くの逆。フレンドリーな会社で



人間関係のストレスはゼロ。学生時代よりも今の方が楽しいですね。

●櫻井 学生時代の友人と話をしていた分かったのですが、どうやらこの和気あいあいとした社内雰囲気はヤクゴならではのようです。居心地がいいですね。

●平野 誕生日に社長からお花が届くのはここだけじゃないでしょうか。毎年創立記念パーティーでは本社の部長が司会者でピンゴで盛り上がり全員にプレゼントがあります。

●松原 育児休暇がきっちり取れて、出産後も職場に戻る人が多く、嘱託社員さんのサポートで勤務時間が融通が効き、希望通りの休みが取りやすい…も女性としてありがたい職場です。年間125日は休みが取れます。



薬剤師になって よかった!

そんな実感が得られる職場です

●松原 人と接するのが大好きな私にとって、患者さんと深く交流できる調剤薬局薬剤師は手応えがいっぱいです。わざわざ京都から近江八幡の店まで来てくださる患者さんがいるのも、薬剤師と患者さんがストレートにつながれる調剤薬局ならではの味。患者さんの「ありがとう」の一言が心に響きますね。

●平野 実際、日々の業務では単なる服薬指導にとどまらず、食事相談や医療制度の説明など、実に幅広い交流があります。その結果、「この人でないと服薬指導を受けたくない」と言う患者さんもいて、そこまで信頼されるなんて、すてきな仕事だと思いますね。

●櫻井 薬剤師は日々の勉強が大変ですが、身に付けた知識がダイレクトに患者さんの役に立っていると実感できるのがたまりません。ここはそんな実感が得られる職場だと自信を持って言えますね。